

A
J
U

みずほ



NPO 法人高次脳機能障害友の会みずほ
会報 第98号



会員 松川千風さん手作りのお菓子♡

目次

- 高次脳機能障害者支援法成立！ P2～3
- 第21回総会のご案内 P3
- あいち高次脳機能障害リハビリテーション講習会 P4～6
- 働くなかまの集い P7
- 若い失語症者のつどい P8
- キッズプラス P8～9
- 企画グループ P10～11
- ミラクル&レディースの会 P11
- 尾張西部地区会 P11
- ワークハウスみかんやま P12～13
- 日本高次脳機能障害友の会 全国大会報告 P14～15
- 高次脳機能障害者(児)支援のための研修会 P16
- 会員さんの作品 ご紹介 P17
- 日々のあれこれ P18
- 入会の案内など P19
- 愛知高次脳機能障害協議会 家族相談会令和8年度ご案内 P20

高次脳機能障害者支援法成立！

理事長 長谷川 潤

昨年12月の臨時国会で高次脳機能障害者支援法(以下支援法)が成立し、本年4月1日より施行されます。また1月24日には支援法成立を祝し、東京JA共済ビルにおいて、日本高次脳機能障害者の会臨時集会が開催されました。集会では支援法成立にご尽力頂いた、前参議院の衛藤晟一氏と全国友の会片岡理事長による立法までの経緯紹介、第二部では鈴木名古屋リハ副センター長と今橋国リハ支援センター長による、シンポジウムが行われました。

私たちみずほとしても支援法成立を契機として、更に高次脳機能障害者への支援が広く深く進むことを願い、NPO法人笑い太鼓、一般社団法人みらい及びサークルフレンズとの4団体共同名で、愛知県、自由民主党議員団及び名古屋市に対し、「要望書」を提出いたしました。



今宮障害福祉課長(右)と
みずほ長谷川理事長



右から 浦野議員、にわ議員、ますだ政調会長、政木総務会長、
今井幹事長、島倉団長と、みずほ・笑い太鼓・サークルフレンズの
代表のみなさん (3月11日 愛知県議事堂にて)

要望書の内容

記

1. 実現したい姿

(1) 高次脳機能障害者が「見逃されない」医療体制

高次脳機能障害は疾病、外傷による脳へのダメージが起因の後遺症だが、当初の疾病、外傷の治癒後、高次脳機能障害に関する後遺症の検査が行われず当該障害が見逃されてきた過去がある。救命・救急医療からの退院・転院時に必ず後遺症チェックが行われるシステムの構築が必要である。

(2) 社会参加(復帰)のための適切な医療的・福祉的リハビリ(訓練)の提供

高次脳機能障害者が社会に参加(復帰)するためには、継続的かつ長期にわたる訓練が必要であるが、当事者の特性(どの障害が顕著か等)により必要な訓練内容が異なるため、個々の特性に応じたプログラムが必要である。また毎日の繰り返しが必要であるため、日常そばにいる家族・支援者にもリハビリ(訓練)で実施してきた内容を理解してもらい、一貫した日常的支援ができるようにすることが望ましい。

(3) 受け入れる側(学校、企業、地域)への支援(環境整備策)の提供
高次脳機能障害者を受け入れる側にその意思があっても、受け入れ側だけでどのような対応が適切かを判断することは難しい。当事者の特性に合わせた受け入れ側の環境整備について、具体策を作成し提供する支援体制の構築が必要。

2. 具体的要請項目

- (1) 高次脳機能障害者支援法施行に関する県民への広報
- (2) 複数の専門医療機関確保
- (3) 「切れ目のない支援の提供」をスタートさせるための、高次脳機能障害を「見逃さない」医療機関の連携
- (4) 支援センターの強化による支援力・支援体制の向上と県内くまなく支援を受けられる体制整備
- (5) 行政や福祉・介護サービス事業者といった関係機関への理解促進により、高次脳機能障害者が地域で生活しやすくなる環境の整備
- (6) 個別の教育支援計画、個別の指導計画の作成の推進

以上



支援法成立はゴールではなく、スタートです。支援法にうたわれた理念の実現に向け、行政への働きかけを行っていきましょう。

第21回総会のご案内

令和8年5月9日(土) 13:00~

会場:イーブルなごや 視聴覚室(名城線 東別院駅 1番出口)

第1部: 総会

第2部: 「高次脳機能障害者支援法を考える」

深川顧問、稲葉顧問、理事長の対談形式で進めます。

みなさん、ぜひご参加ください

※ 会場に、会員のみなさんの作品を展示します!

会報の表紙を飾ってくださった作品や、「会員さんの作品紹介」のページで紹介してきた作品を、総会の会場で展示紹介します。

★第3研修室にて愛知高次脳機能障害協議会家族相談会を開催。時間は10:00~12:00

あいち高次脳機能障害リハビリテーション講習会

「高次脳機能障害の自己理解」をテーマに、昨年11月16日(日) 名古屋市立大学病院 病棟・中央診療棟の大ホールで開催されました。



第1部、基調講演では「高次脳機能障害～気づく苦しみ 気づかない苦しみ～」と題して、東北医科薬科大学病院 高次脳機能障害支援センター長、山形県高次脳機能障がい支援センター顧問、東北大学名誉教授の鈴木匡子氏よりご講演いただきました。

「高次脳機能障害とは」「高次脳機能障害を支える脳の仕組み」を解説され、当事者や周りの人たちの「障害に気づくこと、気づかないこと」とはどういうことか、回復過程で起こるさまざまな現象や影響にはどういう理由があるからなのか、といったことをとてもわかりやすく話していただきました。

高次脳機能障害の症状はひとりひとり違うため、リハビリも含めどのように対応するかもそれぞれ。“気づき”を一つのキーワードに、当事者も周囲も一緒に症状を見ていって理解することが大事だとお話してくださいました。

ポイント（講演資料より）

- 人間の脳は部位により機能が異なるため、高次脳機能障害の症状は多彩である
- 症状が「分からない」と、当事者本人も周りも不安でどう対応したらいいかも分からない まずどんな高次脳機能障害があるのかを知ることが必要
- 本人は高次脳機能障害の症状を正確にわかっていない(気づかない)のが普通なので、安全な場での体験を通して体感させる 第三者の症状を見るのも有効
- 環境が要因の二次的な情動障害は予防が可能 人を含めた環境整備は重要
- 高次脳機能障害の回復は年単位！

第2部は「気づくジレンマ 気づかれないジレンマ」と題して、3名の高次脳機能障害当事者の方(みずほ会員の川本達さんと本田俊治さんが登壇)とそれぞれの支援者に登壇いただき、発表と座談会を行いました。



(司会)
長谷川純子氏

佐藤由美氏 加藤俊宏氏 川本達氏 米田香奈氏 本田俊治氏 尾関諭氏
※左から、当事者とその支援者の順に並ばれています。

発表》自分自身に何が起きているのか、高次脳機能障害に対する自己理解(他者の理解)が進んでいく過程で気づけてよかったこと、気づけたことで悩んでしまったこと、そしてそれにどう向き合ってこられたかなどをそれぞれお話しいただきました。



みなさんの発表のあと、第1部で講演された鈴木先生から

「ここに来るまでにいろいろなことがあったと思いますが、みなさん自分の立ち位置を見つけて前向きにやっていることがとても印象に残り、素晴らしいと思いました。その過程では、周りの人がいろいろ気づかせてくれたことがあったでしょう、それに対してご本人たちが感謝を持って取り組まれていたと感じました。会場にいる方にも今後の励みになったのではないかと、私も非常に参考にさせていただきました。」とコメントいただきました。

座談会》司会から当事者のみなさんに次のような質問がありました。

- ① 高次脳機能障害に対する気づきが、「いつの、どんな支援」で変化したと思うか。
- ② 気づきが変わっていく過程で、自分自身が感じた「はがゆさ」や「つらかったこと」は何か？
- ③ 現在リハビリをしている方や日常生活に戻られている高次脳機能障害がある方へ、様々な過程を経て、現在ご活躍されている皆様から助言をお願いしたい。また、高次脳機能障害がある方を支援している方、支援者へ「こういう視点をもって支えてほしい」という願いがあれば教えてほしい。

みずほ会員の川本さんは、3つの質問に次のように答えられていました。

- ①： 学生時代に「あれ?」「なんで?」と感じていたことが、就労移行支援の訓練中に自身の障害だと気づきました。
- ②： 大学時代の就活中に、コミュニケーション面の不足や理解力の低下などを指摘され、どう改善したらよいかわからずはがゆかったです。
- ③： 「周りには、会社の方や支援者など多くの方がそばにいるよ、助けてくれるので大丈夫ですよ」と伝えたい。また支援者には、介入しすぎず、当事者のやりたいことを応援してくれるとありがたい、「当事者ファースト」であってほしいし、そうありたいと思います。



高次脳機能障害のある当事者や周りの方々それぞれの、気づいたが故の悩み・苦しみ、気づかないが故の悩み・苦しみについてのお話は、参加者された多くの方から「とてもわかりやすかった!」というお声をたくさんいただきました。

また、アンケートでは、「講演は理解しやすい話で納得することが多かった」「自分の状況を理解していないことが普通だということがよく分かった」「障害者の方たちのお話には重なる部分も多く、乗り越えていくヒントや気づきをたくさんもらえた」「今後の支援に非常に役立つ内容だった」という感想も多く寄せられ、好評のうちに終えることができました。 (長谷川ま)

参加人数 196名 (内訳) 当事者 : 47名 当事者家族 : 55名
医療・福祉関係者 : 76名
その他(行政含む) : 18名

この講習会のDVDをみずほ事務所でも貸し出しています。ご希望の方は、電話もしくはみずほホームページのお問い合わせよりお申し込みください。